

# つくばエキスポセンターの石材に見られる化石

<井川敏恵<sup>1)</sup>・中澤 努<sup>1)</sup>・兼子尚知<sup>2)</sup>・利光誠一<sup>2)</sup>・住田達哉<sup>2)</sup>>

2013年3月3日(日)に「ジオネットの日」が茨城県つくば市のつくばエキスポセンターで開催され、その中のイベントの一つとして、産総研地質標本館は「つくばエキスポセンター館内化石さがし」を実施しました。それに関連して、つくばエキスポセンター館内で観察できる化石を紹介します。また、館内で使用されているのと同じ種類の石材を取り寄せ、薄片の顕微鏡観察を行いましたので、あわせてご覧ください。石材や化石などの解説は p. 239-242 の記事をご参照ください。

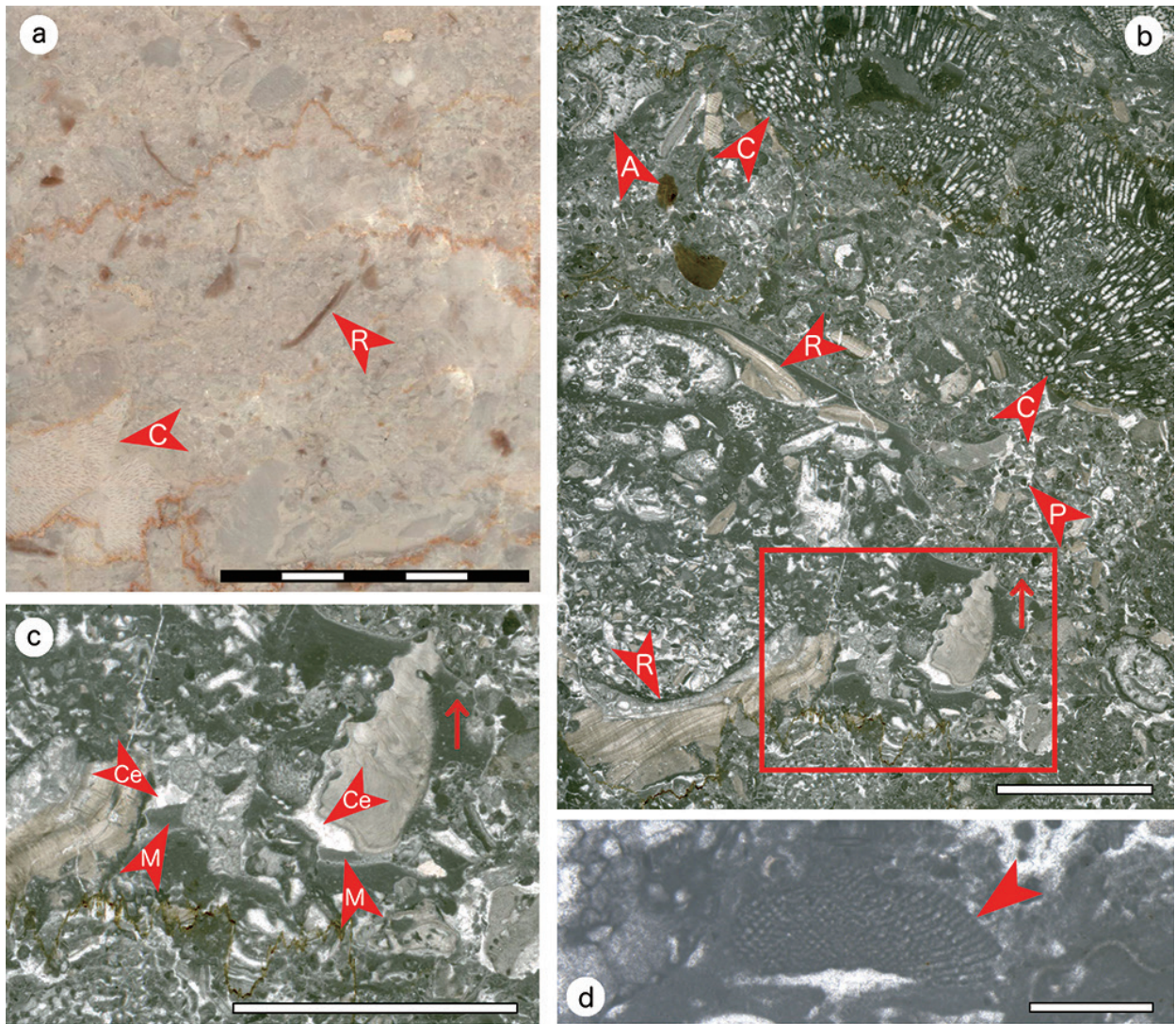


写真1 「ベルラート・シチリア」の石材サンプル。

- 研磨面写真。C：海綿（ケーテテス類， chaetetids），R：厚歯二枚貝。スケールは5 cm。
- 薄片の顕微鏡写真，厚歯二枚貝およびケーテテス類を含み，生物遺骸とペロイドに富むラドストーン（rudist-chaetetid-bearing bioclast-peloidal rudstone）；ラドストーンは石灰岩を分類した一種。A：石灰藻，C：海綿（ケーテテス類， chaetetids），P：ペロイド，R：厚歯二枚貝。四角で囲った部分は写真1-cを参照。矢印の方向が層序的上位。スケールは1 cm。
- 写真1-bの四角で囲んだ部分の拡大写真。空隙をミクライト（M）が充填し，残りはセメント（Ce）で埋められる半充填構造が確認できる。矢印の方向が層序的上位。スケールは1 cm。
- 大型有孔虫（オルビトリナの仲間， orbitolinids），スケールは1 mm。

1) 産総研 地質情報研究部門  
2) 産総研 地質標本館

IGAWA Toshie, NAKAZAWA Tsutomu, KANEKO Naotomo, TOSHIMITSU Seiichi and SUMITA Tatsuya (2013) Fossils in building stones of Tsukuba Expo Center.

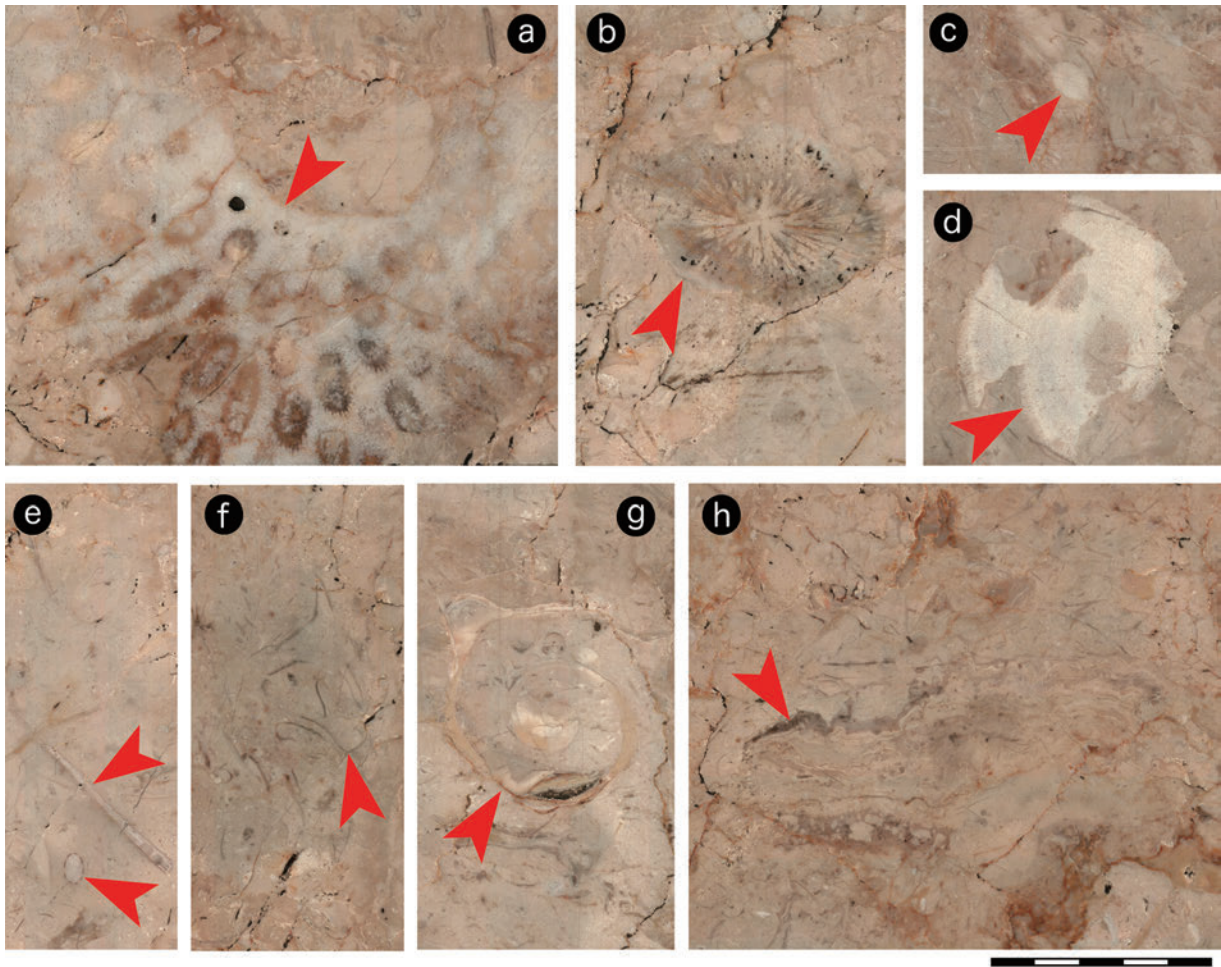


写真2 1階エントランスホール階段および床の石材「ペルラート・シチリア」で観察できる化石。  
 a. 塊状サンゴ, b. 枝状サンゴの横断面, c. 大型有孔虫, d. 海綿, e. ウニのとげ (縦断面と横断面), f. 二枚貝,  
 g. 巻貝, h. 石灰藻 (現地成長を示す). 右下のスケールは共通で, 5 cm.

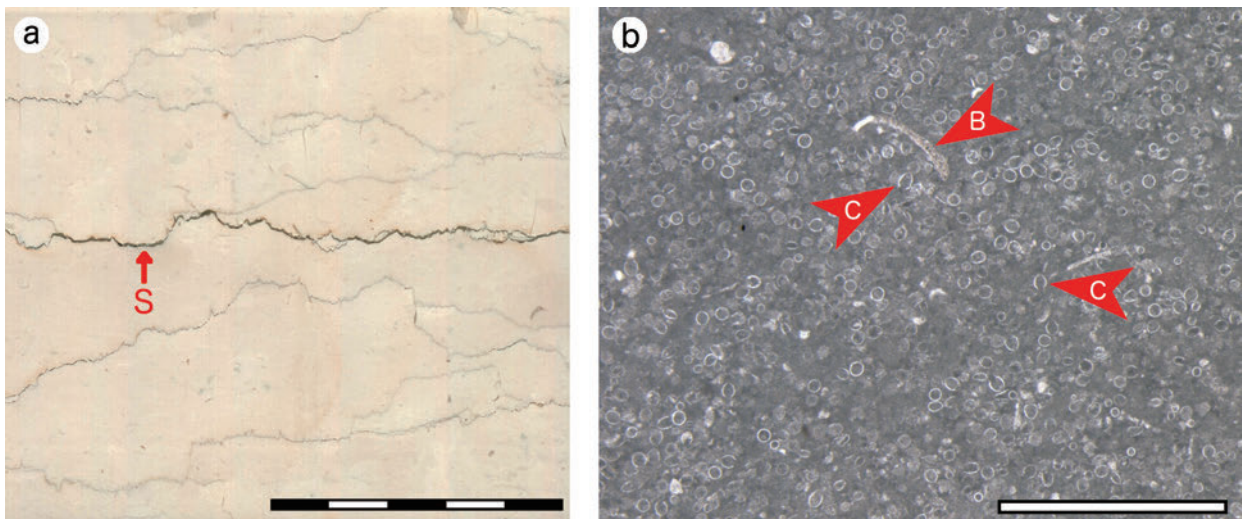


写真3 「ペルリーノ・キヤーロ」の石材サンプル。  
 a. 研磨面写真。エキスポセンター2階の壁と同様にクリーム色～ベージュ色を呈したミクライト質石灰岩。  
 スタイロライト面 (S) も確認できる。スケールは 5 cm。  
 b. 薄片の顕微鏡写真, カルピオネラ類に富むワッケストーン (calpionellid wackestone); ワッケストーンは石灰岩を分類  
 した一種。B: 二枚貝, C: カルピオネラ類 (calpionellids)。スケールは 1 mm.

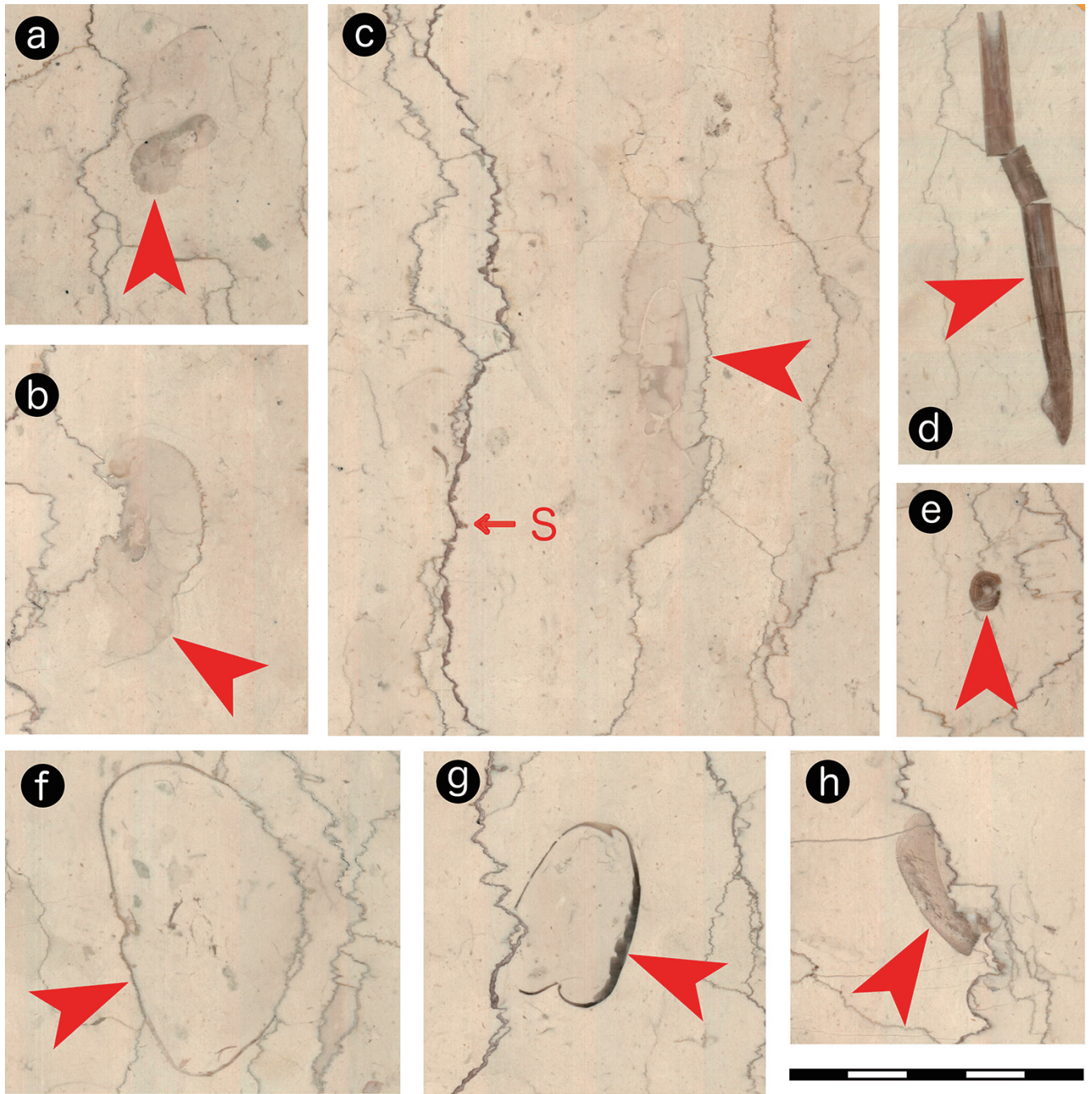


写真4 2階サイエンスギャラリー前の壁の石材「ペルリーノ・キャーロ」で観察できる化石。  
 a. アンモナイト, b. アンモナイト, c. アンモナイトとスタイロライト面 (s), d. ベレムナイトの縦断面, e. ベレムナイトの横断面, f. ウニ, g. 二枚貝, h. 厚歯二枚貝。右下のスケールは共通で、5 cm.